

# MF

## ユニバ組みが構成する魅惑の中盤！

## キャプテンの中田に注目

# KOMAZAWA UNIV.



**橋本 早十(4年)**  
今年深井(鹿島)から受け継いだ10番をしょってプレーする。左足から繰り出されるクロスは無比正確。橋本にとって今年のリーグ戦は、進化を問われることは間違いないだろう。  
全日本大学選抜(03)

# H.HASHIMOTO

### 中嶋 裕太(3年)

3年生にしてようやくチャンスがめぐってきた選手。彼のダイレクトパスは常に相手の急所を狙い続ける。果たしてトップ下不在の駒大の救世主となるか！四日市中央工業高校出身。

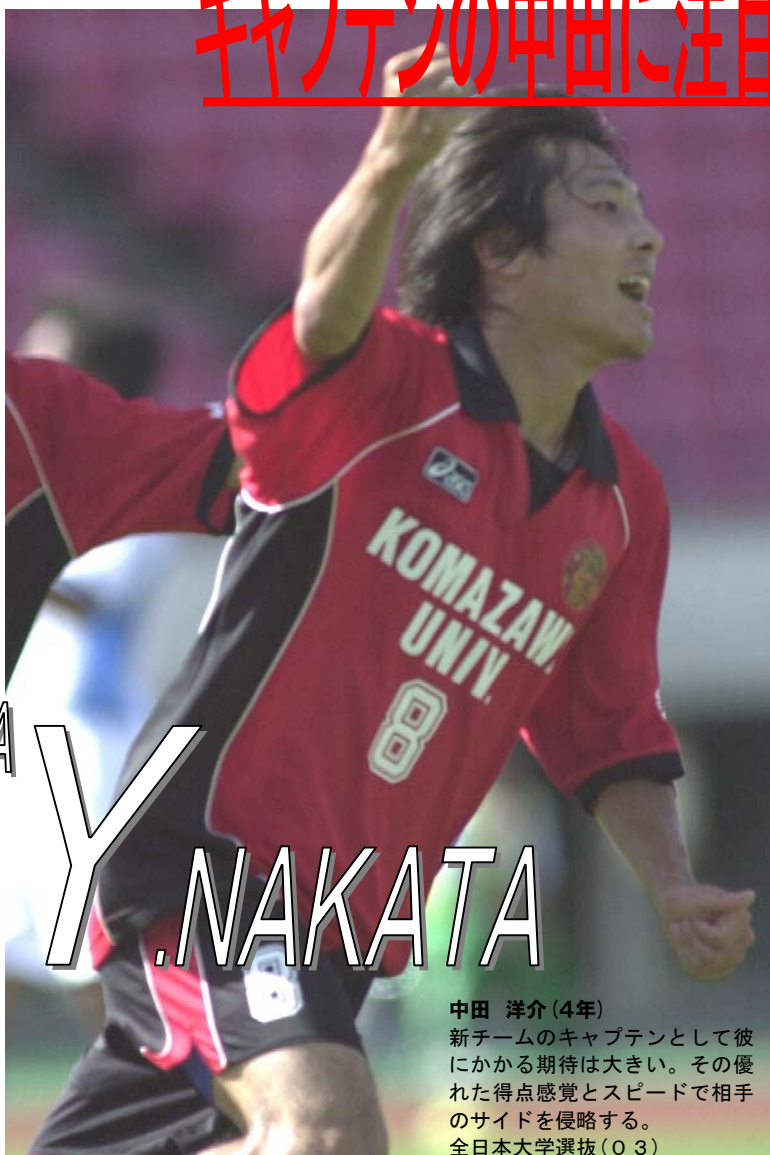


# Y.NAKAJIMA



**関 光博(3年)**  
その才能は誰もが認める。今年は結果を残しレギュラーを獲得したい。得点能力も高い選手だけにFWとしての起用も十分に考えられる。

# M.SEKI



# Y.NAKATA

**中田 洋介(4年)**  
新チームのキャプテンとして彼にかかる期待は大きい。その優れた得点感覚とスピードで相手のサイドを侵略する。  
全日本大学選抜(03)

## どのような組み合わせになるか注目

中盤はとにかくユニバーシアード代表候補(全日本大学選抜)の3人、中田、橋本、中後が中心となって構成されることは間違いないだろう。中田、橋本はおとしから駒大の両サイドを担い絶大な存在感を放っていた。去年のエース深井も「2トップ、2トップと騒がれるけど駒大は両サイドが生命線だよ」と語るほど。そして、中後はもう駒大になくてはならない選手にまでに成長した。すべての攻撃が中後から始まると言っても過言ではないだろう。そこで問題なのがトップ下のポジション。现阶段では中嶋が候補としてあがっているが赤嶺というオプションもある。そして、調整不足で出遅れているが田中にも期待したいところだ。本人も「中後はキープ力があるから組んでやりやすい」と語っている。去年の大臣杯では絶妙なコンビネーションを見せていただけに期待は高まる。場合によっては小林亮のトップ下というオプションもある。  
3人が中心といっても彼らは今年、ユ

ニバーシアードと駒大を掛け持ちをする。疲労を考えたり、ケガで欠場することもあるだろう。しかし、バックアップの選手も充実しているのが今年の強み。関光博、小林卓也、大瀬良直人など多数のタレントが存在する。コンビネーションさえかみ合ってくれば黄金の中盤を形成することは可能だ。後は新キャプテンの中田がどんなリーダーシップをとり、チームをまとめるのかも注目だ。



▲田中は春に風邪をこじらせてしまい出遅れてしまった



# M.CHUGO

**中後 雅喜(3年)**  
3年生にして中盤にもう欠かせないプレーヤーとなった中後。ボールの受け方、一本のクロスすべてがハイレベル。駒大が世界に誇るスーパーポランチ。  
全日本大学選抜(03)